

Anaphylaxis

Anaphylaxis 8

アナフィラキシーショックの診療手順

①問診：
アレルギーの既往やアレルゲンの暴露歴（薬剤，食物，蜂）はないか，またアナフィラキシーショックを誘発するような運動，寒冷といった発症の状況などはないか。

②バイタルサイン，ABCのチェック：
喉頭浮腫やショックはないか。

③特徴的な皮疹（皮膚掻痒感，膨疹，紅斑など）はないか。

④低酸素血症（SpO2，呼吸音，胸部レントゲン，動脈血液ガスなど）はないか
治療：アナフィラキシーショックと診断されれば，

- アドレナリン投与
- 輸液
- 気道確保
- 酸素投与

を行う。

Treatment

- Adrenalin
- アミノフィリン
気管拡張作用
- ステロイド
遅発性の症状出現(二相性アナフィラキシー)を抑制

Quiz

8 Qs / 8

104B49

M

70歳の女性。
山菜採りに出かけ，約30分前に多数のスズメバチに刺され，家族に伴われて来院した。
スズメバチに刺された既往がある。
意識レベルはJCSI-1，呼吸困難を訴える。全身の皮膚が紅潮し，頭部と四肢とに多数の刺傷がある。呼吸数30/分，脈拍120/分，整。血圧60/40mmHg。心音に異常を認めない。全肺野にwheezesを聴取する。
動脈血ガス分析（自発呼吸，room air）：pH 7.45，PaO2 68Torr，PaCO2 36Torr，HCO3- 24mEq/L。
処置として適切でないのはどれか。

a. アドレナリン皮下注

b. アミノフィリン静注

c. 副腎皮質ステロイド静注

d. 塩酸イソプロテレンール静注

e. フェイスマスクによる酸素吸入

Dx：アナフィラキシー

False: d

a.

b. アミノフィリン：
気管拡張作用

c. ステロイド：
遅発性の症状出現(二相性アナフィラキシー)を抑制

d. β stimulant：
末梢血管拡張

e.

